



平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月7日

上場会社名 ザ・パック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3950 URL http://www.thepack.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)中尾 吉計
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)藤井 道久 (TEL)06(6972)1221
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 平成29年9月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日~平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	41,729	1.0	3,053	20.9	3,217	18.0	2,107	26.5
28年12月期第2四半期	41,320	2.7	2,524	11.9	2,726	14.8	1,666	17.5

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 2,384百万円(157.3%) 28年12月期第2四半期 926百万円(△51.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	107 42	107 31
28年12月期第2四半期	84 96	84 87

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	75,678	50,521	66.6
28年12月期	76,291	48,603	63.6

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 50,437百万円 28年12月期 48,533百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	25 00	—	25 00	50 00
29年12月期	—	25 00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	25 00	50 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日~平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	91,000	2.0	6,700	3.3	7,000	2.6	4,700	3.5	239 61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年12月期 2 Q	19,900,000株	28年12月期	19,900,000株
29年12月期 2 Q	280,137株	28年12月期	284,592株
29年12月期 2 Q	19,617,519株	28年12月期 2 Q	19,615,485株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記述は、業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定及び本日現在における入手可能な情報を前提としており、実際の業績等は様々な要因で大きく異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関しましては、【添付資料】P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復状態が継続しており、企業収益は製造業を中心に好調に推移しています。一方、個人消費は雇用者所得の回復を背景に、消費者マインドは緩やかに改善していますが、まだまだ力強さを欠いています。

海外では、中国景気の不安要素や欧米の政策運営に不確実性があるものの、景気は堅調に推移しています。

このような状況の中、当社は中期経営計画の目標達成に向けて「グループ力結集 更なる成長」をスローガンに、グループ全社が結束して新たな市場開拓と適正価格による販売に注力する一方、積極的な設備投資、新商品開発や品質管理の改善など業績の向上に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は417億29百万円（前年同期比1.0%増加）、営業利益は30億53百万円（前年同期比20.9%増加）、経常利益は32億17百万円（前年同期比18.0%増加）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は21億7百万円（前年同期比26.5%増加）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

(紙加工品事業)

当第2四半期連結売上高の61.8%を占めるこの部門では、紙袋（対連結売上高構成比31.8%）は、国内販売は前年並みでしたが、中国子会社の販売は好調に推移しました。その結果、同上売上高は133億16百万円（前年同期比1.1%増加）となりました。

紙器（同上構成比16.1%）は、食品用パッケージが堅調に推移したほか、積極的な販売拡大に注力したこともあり、同上売上高は67億円（前年同期比7.9%増加）となりました。

段ボール（同上構成比11.5%）は、メーカー向けや通販会社への販売が好調で、同上売上高は47億78百万円（前年同期比4.2%増加）となりました。

印刷（同上構成比2.4%）は、株式会社京浜特殊印刷の販売が低調であったため、同上売上高は10億3百万円（前年同期比4.1%減少）となりました。

以上により、この部門の売上高は257億99百万円（前年同期比3.1%増加）となり、営業利益は22億52百万円（前年同期比17.5%増加）となりました。

(化成品事業)

当第2四半期連結売上高の21.5%を占めるこの部門では、国内専門店向けの販売が低調でしたが、紙おむつ用製品の受注が好調に推移し、同部門の売上高は89億73百万円（前年同期比0.7%増加）となり、営業利益は5億7百万円（前年同期比32.0%増加）となりました。

(その他)

当第2四半期連結売上高の16.7%を占めるこの部門では、主にPASシステム（包装資材その他の製造・調達から在庫管理、納品まで一括で請け負うアウトソーシングシステム）に係る用度品等の売上が減少し、同部門の売上高は69億56百万円（前年同期比5.9%減少）となりましたが、営業利益は6億51百万円（前年同期比2.9%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6億13百万円減少し、756億78百万円となりました。これは主に「現金及び預金」72億90百万円の増加、「受取手形及び売掛金」57億4百万円・「有価証券」26億円の減少によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ25億31百万円減少し、251億56百万円となりました。これは主に「支払手形及び買掛金」29億39百万円・「未払法人税等」1億76百万円の減少によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ19億18百万円増加し、505億21百万円となりました。これは主に「利益剰余金」16億16百万円・「その他有価証券評価差額金」2億74百万円の増加によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前第2四半期連結累計期間に比べて71億4百万円(50.8%)増加し、210億91百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上が32億15百万円となり、売上債権の減少56億80百万円があった一方、仕入債務の減少29億61百万円等により54億98百万円の収入(前第2四半期連結累計期間は48億84百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の売却による収入60億2百万円等があった一方、有形固定資産の取得による支出2億79百万円、有価証券の取得による支出25億1百万円等により31億91百万円の収入(前第2四半期連結累計期間は17億76百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額4億90百万円等により4億85百万円の支出(前第2四半期連結累計期間は4億90百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年2月10日に公表しました内容から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,695	16,985
受取手形及び売掛金	23,562	17,858
有価証券	9,300	6,700
商品及び製品	5,149	5,438
仕掛品	787	755
原材料及び貯蔵品	660	659
繰延税金資産	263	242
その他	474	636
貸倒引当金	△27	△20
流動資産合計	49,868	49,256
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,262	7,050
機械装置及び運搬具（純額）	5,044	4,857
工具、器具及び備品（純額）	163	157
土地	8,066	8,066
建設仮勘定	267	362
有形固定資産合計	20,804	20,493
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	4,283	4,703
繰延税金資産	647	532
その他	684	645
貸倒引当金	△120	△120
投資その他の資産合計	5,494	5,760
固定資産合計	26,423	26,421
資産合計	76,291	75,678

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,334	11,394
電子記録債務	4,499	4,468
未払法人税等	1,303	1,126
賞与引当金	269	281
役員賞与引当金	47	23
その他	2,664	3,197
流動負債合計	23,119	20,492
固定負債		
繰延税金負債	314	396
退職給付に係る負債	4,077	4,118
その他	177	149
固定負債合計	4,568	4,664
負債合計	27,688	25,156
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,553	2,553
資本剰余金	3,167	3,166
利益剰余金	42,654	44,271
自己株式	△739	△727
株主資本合計	47,636	49,263
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,595	1,869
繰延ヘッジ損益	33	15
為替換算調整勘定	△190	△225
退職給付に係る調整累計額	△541	△486
その他の包括利益累計額合計	896	1,173
新株予約権	43	56
非支配株主持分	26	27
純資産合計	48,603	50,521
負債純資産合計	76,291	75,678

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	41,320	41,729
売上原価	31,768	31,590
売上総利益	9,551	10,139
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	1,867	1,923
給料及び手当	1,910	1,863
役員報酬	257	254
貸倒引当金繰入額	60	△5
賞与引当金繰入額	105	148
役員賞与引当金繰入額	20	21
退職給付費用	225	221
減価償却費	240	199
賃借料	1,094	1,123
その他	1,243	1,335
販売費及び一般管理費合計	7,026	7,086
営業利益	2,524	3,053
営業外収益		
受取利息	61	47
受取配当金	48	50
受取賃貸料	31	30
為替差益	47	26
その他	34	26
営業外収益合計	222	180
営業外費用		
支払利息	0	0
賃貸収入原価	5	6
その他	15	9
営業外費用合計	21	16
経常利益	2,726	3,217
特別利益		
投資有価証券売却益	-	0
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産除却損	0	3
固定資産売却損	0	-
投資有価証券評価損	0	-
特別損失合計	0	3
税金等調整前四半期純利益	2,725	3,215
法人税、住民税及び事業税	1,088	1,033
法人税等調整額	△29	74
法人税等合計	1,058	1,107
四半期純利益	1,666	2,108
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,666	2,107

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	1,666	2,108
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△535	274
繰延ヘッジ損益	△28	△17
為替換算調整勘定	△200	△35
退職給付に係る調整額	23	55
その他の包括利益合計	△740	276
四半期包括利益	926	2,384
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	930	2,383
非支配株主に係る四半期包括利益	△4	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,725	3,215
減価償却費	881	790
貸倒引当金の増減額(△は減少)	59	△6
賞与引当金の増減額(△は減少)	7	11
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△22	△24
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	55	115
受取利息及び受取配当金	△110	△97
支払利息	0	0
固定資産売却損益(△は益)	△0	△0
固定資産除却損	0	3
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△0
投資有価証券評価損益(△は益)	0	-
売上債権の増減額(△は増加)	6,124	5,680
たな卸資産の増減額(△は増加)	△312	△260
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,535	△2,961
その他	210	150
小計	6,083	6,618
利息及び配当金の受取額	108	100
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△1,306	△1,219
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,884	5,498
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	△83
定期預金の払戻による収入	33	83
有価証券の取得による支出	△4,200	△2,501
有価証券の売却による収入	3,400	6,002
貸付金の回収による収入	113	0
有形固定資産の取得による支出	△1,129	△279
有形固定資産の売却による収入	4	1
無形固定資産の取得による支出	△0	△60
投資有価証券の取得による支出	△13	△14
投資有価証券の売却による収入	-	1
その他	16	42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,776	3,191
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△482	△490
その他	△8	4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△490	△485
現金及び現金同等物に係る換算差額	△82	△13
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,535	8,190
現金及び現金同等物の期首残高	11,451	12,900
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,986	21,091

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。